

(表中敬称略)

会議名	リカレント教育プログラム開発部会（令和3年度第2回）		
日 時	令和3年12月17日（金）10:00～11:30		
場 所	オンライン（Zoom ミーティング）		
オンライン出席者（計15名）			
カテゴリ	所属（学校等・部門・部署）	役職	氏名
産	一般社団法人近畿建設協会	チーフ	小室 篤史
産	西日本高速道路株式会社	関西支社 構造担当部長	◎佐溝 純
産	一般財団法人橋梁調査会近畿支部	近畿支部長	別木 孝
産	国土交通省近畿地方整備局企画部	技術調整管理官	増田 安弘
学（連携校）	長岡工業高等専門学校	准教授	○陽田 修
学（連携校）	福井工業高等専門学校	教授	辻野 和彦
学（連携校）	福井工業高等専門学校	嘱託教授	阿部 孝弘
学（代表校）	舞鶴工業高等専門学校	教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	玉田 和也
学（代表校）	舞鶴工業高等専門学校	准教授・社会基盤メンテナンス教育センター副センター長	毛利 聡
学（連携校）	香川高等専門学校	助教	長谷川 雄基
学（協力校）	国立大学法人長岡技術科学大学	准教授	宮下 剛
学（連携校）	放送大学学園	企画係長	東海林 壽朗
事務局	福島工業高等専門学校	特命助教	浅野 寛元
事務局	長岡工業高等専門学校	助教	白井 一義
事務局	長岡工業高等専門学校	特命助教	丸山 聡
事務局	福井工業高等専門学校	特命助教	宮川 清剛
事務局	舞鶴工業高等専門学校	特命准教授	嶋田 知子
事務局	舞鶴工業高等専門学校	特命助教	掛 園恵
事務局	香川高等専門学校	助教・社会基盤メンテナンス教育センター副センター長	入江 正樹
◎：部会長 ○：副部会長			
議事次第			
1. はじめに 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也			
2. 部会長挨拶 西日本高速道路株式会社関西支社 構造担当部長 佐溝 純一 様			
3. リカレント教育プログラムの検証について（報告）			
・専門特修講座【建設 ICT】実証講座の概要			…… 資料1
・専門特修講座【建設 ICT】実証講座の検証結果			…… 資料2
・橋梁診断技術者認定講座【橋梁診断】実証講座の概要			…… 資料3
・橋梁診断技術者認定講座【橋梁診断】実証講座の検証結果			…… 資料4

4. 技術資格『橋梁診断技術者』の新規創設について（報告）	
・ 橋梁診断技術者認定制度について	…… 資料 5
・ 橋梁診断技術者認定試験の概要	…… 資料 6
5. リカレント教育プログラムの各地域への展開について（審議）	
・ 専門特修講座【建設 ICT】体験型学修（実用化新技術）	…… 資料 7
6. まとめ	
7. その他（今後の予定，事務連絡等）	
	以上



写真 6. 3. 4 舞鶴高専 玉田先生挨拶



写真 6. 3. 5 佐溝部会長挨拶



写真 6. 3. 6 オンライン参加者

リカレント教育プログラム開発部会（第2回）議事録

日時：令和3年12月17日（金）10:00～11:30
場所：オンライン（Zoom ミーティング）

1. はじめに 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也
2. 部会長挨拶 西日本高速道路株式会社関西支社 構造担当部長 佐溝 純一 様
3. リカレント教育プログラムの検証について（報告）
 - ✓ オンラインと対面を効果的に組み合わせたコンテンツとして、引き続き実証講座での検証および改良を進めていく方向で良い。
4. 技術資格『橋梁診断技術者』の新規創設について（報告）
 - ・橋梁診断技術者認定制度について
 - ✓ 若手技術者が建設 ICT を学ぶことは重要である。
 - ✓ ICT 技術の発展に伴うコンテンツの更新は、今後の課題である。
 - ✓ AI の理解を確認する際、試験問題で何を問うかは検討が必要である。
 - ✓ 当該講座で学ぶ最新技術を実務にどのように活用するかについては、ディスカッションを通じて学んでいただきたい。
 - ・橋梁診断技術者認定試験の概要
 - ✓ 診断から措置までに時間がかかることを想定し、判定結果の根拠となる内容は、調書に理路整然と記述し伝える必要があるため、調書作成も重要である。
 - ✓ 橋梁診断技術者が、診断結果として、“なぜその判定なのか”を道路管理者へ説明するプレゼンテーション力は重要であることから、学修到達度確認試験においても、プレゼンテーションは重要な評価項目である。
 - ✓ 健全性の判定や診断結果は、地域や点検・診断担当技術者の主観によるバラつきがあり“平準化”の課題であるため、何を基準に評価するかは検討が必要である。
5. リカレント教育プログラムの各地域への展開について（審議）
 - ✓ 今後も新型コロナウイルス感染防止に最大限配慮し、開催の方向で進める。
 - ✓ 開催結果はHP等で公表する。
6. まとめ
 - ✓ 佐溝部会長より部会報告を行う。
7. その他（今後の予定、事務連絡等）

以上